

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	県民活動総合センター
指定管理者	公益財団法人いきいき埼玉
評価対象年度	令和5年度
施設所管課	共助社会づくり課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	危機管理マニュアル等を備え、消防計画に基づき委託業者を含む全職員参加の避難訓練等を実施し、緊急の事態に備えていた。
	法令等の遵守	A	消防設備保守点検などの法定点検業務を適切に行っていた。
	平等利用の確保	A	許可手続は適切に行われていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	講座実施回数86講座の目標に対し、97講座を実施し目標を達成した。また、受講者アンケートの分析により県民のニーズに対応した講座を実施したほか、対面実施とオンライン実施の併用に努め、受講者満足度は97.2%と目標を上回った。
	利用状況	A	施設利用者数728,000人の目標に対して、実績値は745,057人と目標を上回った。施設利用率は57.5%と、目標(65%)を下回ったが、検定試験や企業研修の誘致など大口予約の獲得に向けた努力が見られた。
	適切な管理の 履行	A	基本協定書及び年度協定書に基づき適切に管理を行っている。また、警備や清掃などについても再委託業者を適切に指導し、適正に履行していた。
	財産の適切な 管理	A	建物や設備の修繕は、利用者の利用状況を勘案し、修繕時期を設定して実施するなど、利用者を第一に考え適切に行われた。また、不要な備品を適宜処分するなど、適正に管理を行った。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向上	A	宿泊予約システムのオンライン化、屋外施設の利用料金の支払いにおけるキャッシュレス決済の導入、食堂・売店の営業再開などにより、利便性の向上を図った。
	利用者の満足度	A	利用者アンケートでは、92.6%の方が、講座受講者アンケートでは97.2%の方が満足と回答しており、どちらも目標(90%)を上回る適正な状態である。
安定した経営 基盤	適正な財務状況の 確保	A	コロナ禍後も単価の高い宿泊利用の回復が進んでおらず、利用料金収入は91,804千円にとどまり、目標額の122,873千円を下回った。しかし、スポーツ合宿や企業の宿泊研修等の誘致など、利用料金収入の確保に向けた努力が見られた。
総合評価		A	適切に管理運営が行われた。

特記事項	特に評価すべき点	コロナ禍の余波や改修工事による食堂の休業により宿泊利用者が伸び悩む中で、大口利用の誘致やキャッシュレス化の推進など、利用促進に向けた工夫が見られた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	利用料金収入についてはコロナ以前の水準を目指し、目標が達成されるよう努められたい。